

幅広い「参加型」の食育を推進！

令和5年度消費・安全対策交付金 地域での食育の推進事業
事業実施主体：島原市食生活改善推進員協議会（長崎県）

- 島原市食生活改善推進員協議会は、島原市と連携した食育活動を実施している。
- 島原市は、食育に関心のある市民の割合が73.3%と、長崎県と比較しても高い一方で、食育の取組については、食育に関する講座やイベントなどへの参加率が2.4%と、低い状況にある。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により減少した「参加型」の食育推進について、「WITH コロナ」として、従来の共食の場の提供及び調理体験活動等を再開し、地産地消の推進や生活習慣病の改善を図る必要がある。

長崎県



島原市

【取組の内容】

① 親子料理教室の開催

・市内3か所で行った各1回開催し、親子延べ73組149名が参加。本協議会会員の指導の下、地元食材を使用した「にんじんまんじゅう」や「べったらもち」などの料理体験を行った。

② 郷土料理教室の開催

・市内の小学生14名とその保護者3名が参加。本協議会会員から島原の郷土料理に関するミニ講話を行い、その後、「島原具雑煮」、「いぎりす」などの調理実習を行った。

③ 高齢者学級の開催

・市内の高齢者を対象に2回開催し、52名が参加。本協議会会員から夏バテ予防のための食生活に関する講話を行い、その後、夏バテ予防の食事の調理実習を行った。

① べったらもちの料理体験



② 島原具雑煮の調理実習



③ 夏バテ予防の講話の様子



【取組の成果】

- 地元の小学校などで親子料理教室、郷土料理教室、高齢者向けの料理教室に様々な層の市民が参加する機会を設け、地元食材の使用、食品ロス削減の啓発を行うことで、目標値を達成することができた。

【事業の目標】

- 食品ロス削減のために「食べ残しをしない」に取り組む人の割合

実施前69.5%
⇒実施後83.8%

- 産地を確認し、国産や県内産のものを選ぶ人の割合

実施前48.5%
⇒実施後82.1%

